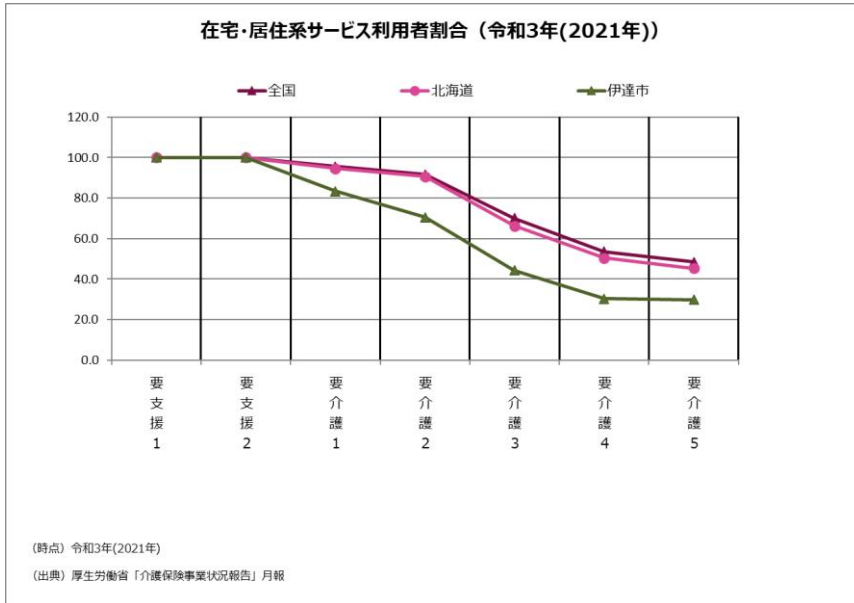


伊達市の介護保険事業の特徴(地域分析・要因)～地域包括ケア「見える化システム」による分析～

※この分析は、厚生労働省提供「見える化システム」データを活用した分析です。集計方法の違い等により、市の公表している予算や決算の人数や金額と一致しない場合があります。

1 サービス利用割合の比較



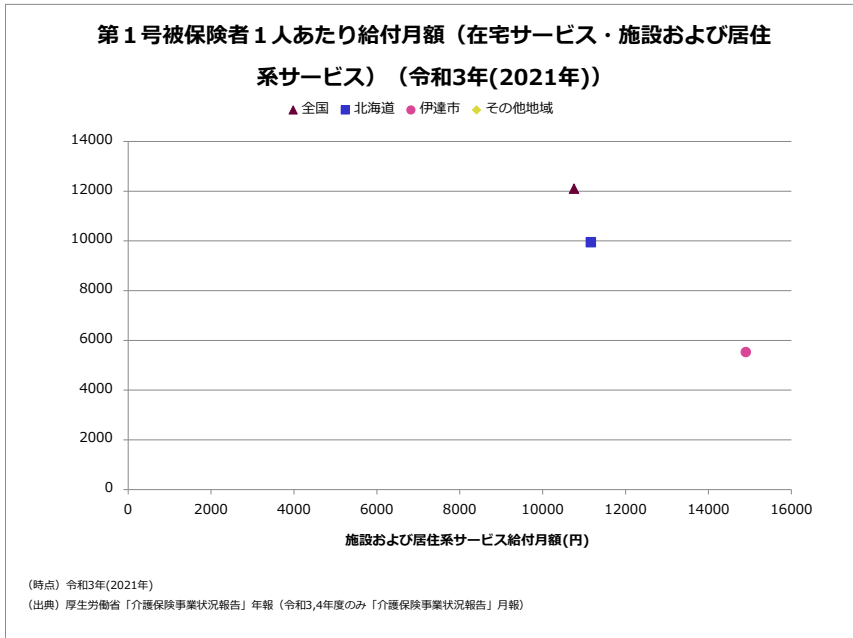
		全国	北海道	伊達市
サービス利用者数(要支援1)	(人)	3,763,213	187,047	1,784
サービス利用者数(要支援2)	(人)	5,763,052	258,432	2,874
サービス利用者数(要介護1)	(人)	13,902,733	773,183	5,938
サービス利用者数(要介護2)	(人)	12,519,601	576,004	4,124
サービス利用者数(要介護3)	(人)	10,115,065	396,807	2,602
サービス利用者数(要介護4)	(人)	9,434,970	367,201	2,284
サービス利用者数(要介護5)	(人)	6,182,974	245,367	1,641
サービス利用者数(合計)	(人)	61,681,608	2,804,041	21,247
在宅・居住系サービス利用者数(要支援1)	(人)	3,763,201	187,047	1,784
在宅・居住系サービス利用者数(要支援2)	(人)	5,763,038	258,431	2,874
在宅・居住系サービス利用者数(要介護1)	(人)	13,295,732	732,233	4,950
在宅・居住系サービス利用者数(要介護2)	(人)	11,473,739	521,843	2,910
在宅・居住系サービス利用者数(要介護3)	(人)	7,090,904	263,030	1,154
在宅・居住系サービス利用者数(要介護4)	(人)	5,043,232	185,412	693
在宅・居住系サービス利用者数(要介護5)	(人)	2,995,593	111,203	489
在宅・居住系サービス利用者数(合計)	(人)	49,425,439	2,259,199	14,854
要支援1	(%)	100.0	100.0	100.0
要支援2	(%)	100.0	100.0	100.0
要介護1	(%)	95.6	94.7	83.4
要介護2	(%)	91.6	90.6	70.6
要介護3	(%)	70.1	66.3	44.4
要介護4	(%)	53.5	50.5	30.3
要介護5	(%)	48.4	45.3	29.8
在宅・居住系サービス利用者割合(合計)	(%)	80.1	80.6	69.9

(時点) 令和3年(2021年)  
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

- 全国平均及び道内平均と比較すると、要介護2以上の在宅・居住サービス利用者の割合が低い。
- つまり、他自治体よりも要介護2以上の施設サービスの利用者の割合が高い。

⇒施設及び居住系サービス利用者のうち、在宅サービス利用者の割合を増やすことができれば、全体的な介護給付費の減少につながる。

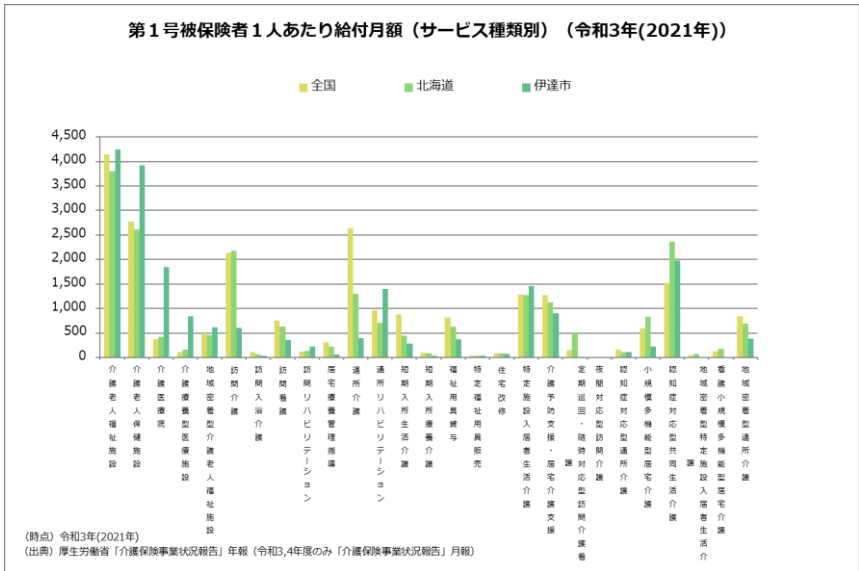
## 2 給付費の比較



		全国	北海道	伊達市
第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス）	(円)	12,104	9,950	5,530
第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）	(円)	10,756	11,163	14,900

■第1号被保険者1人あたり給付月額において、全国平均・道内平均と比較すると、在宅サービスは(全国)0.46倍、(道)0.56倍。施設サービスは(全国)1.39倍、(道)1.33倍となっている。

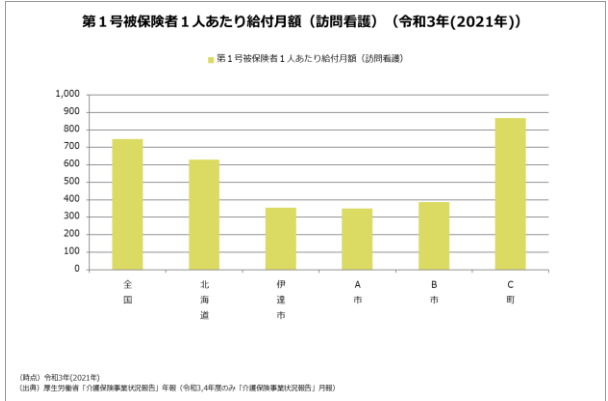
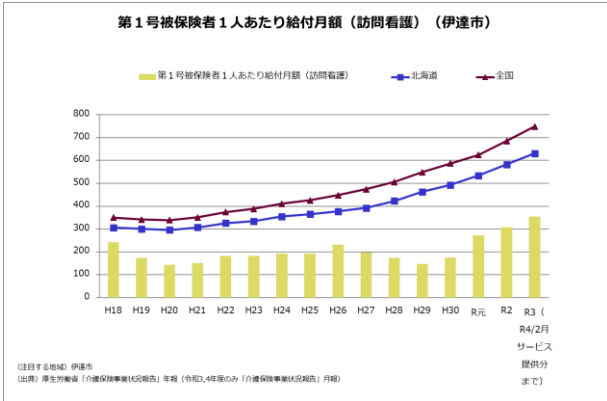
3 サービス別給付費の比較



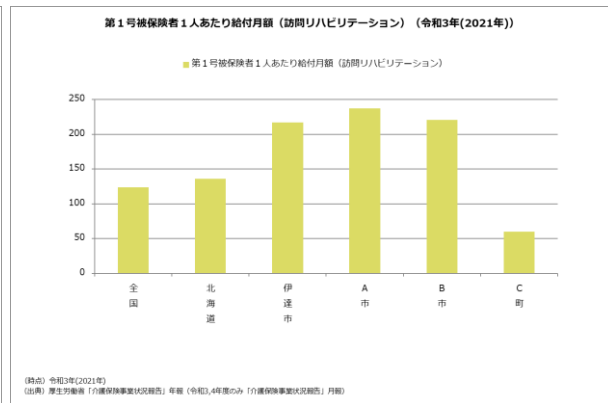
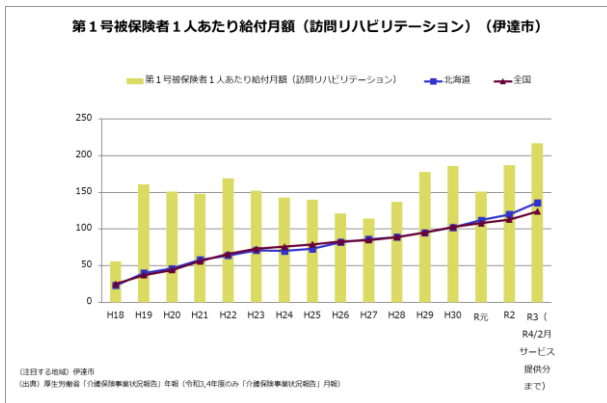
		全国	北海道	伊達市
介護老人福祉施設	(円)	4,146	3,799	4,243
介護老人保健施設	(円)	2,776	2,607	3,921
介護医療院	(円)	377	426	1,848
介護療養型医療施設	(円)	117	162	845
地域密着型介護老人福祉施設	(円)	494	452	613
訪問介護	(円)	2,145	2,183	609
訪問入浴介護	(円)	117	63	43
訪問看護	(円)	749	631	355
訪問リハビリテーション	(円)	124	136	217
居宅療養管理指導	(円)	313	225	65
通所介護	(円)	2,637	1,299	396
通所リハビリテーション	(円)	963	699	1,394
短期入所生活介護	(円)	876	444	288
短期入所療養介護	(円)	99	81	34
福祉用具貸与	(円)	811	626	376
特定福祉用具販売	(円)	33	34	33
住宅改修	(円)	84	84	73
特定施設入居者生活介護	(円)	1,285	1,274	1,455
介護予防支援・居宅介護支援	(円)	1,279	1,128	899
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(円)	145	498	17
夜間対応型訪問介護	(円)	7	3	0
認知症対応型通所介護	(円)	166	117	113
小規模多機能型居宅介護	(円)	591	825	221
認知症対応型共同生活介護	(円)	1,518	2,365	1,974
地域密着型特定施設入居者生活介護	(円)	45	78	0
看護小規模多機能型居宅介護	(円)	118	175	10
地域密着型通所介護	(円)	845	697	389

■ サービス種類別の第1号被保険者1人あたりの給付月額を見ると、北海道平均と比較して、施設サービスの他、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションが高く、訪問介護、居宅療養管理指導、通所介護、地域密着型通所介護が低くなっている。

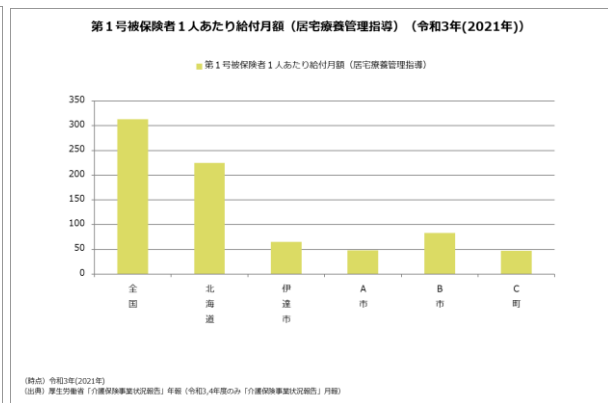
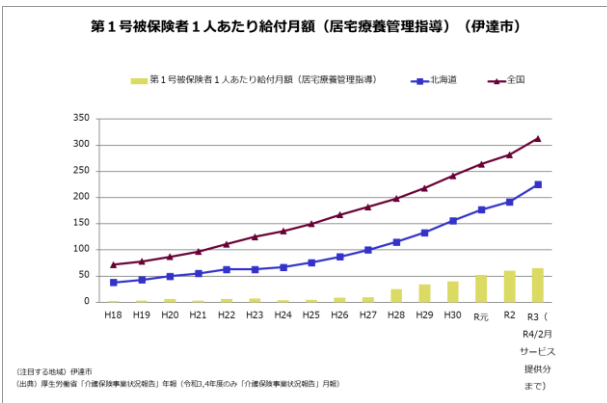
#### 4 各サービス給付費の地域比較



- 全国平均及び北海道平均と比較的差のある訪問看護だが、伊達市の傾向を見るとH30から増加傾向にある。
- 近隣市との比較では地域の高齢人口により差があるが、同程度となっている。



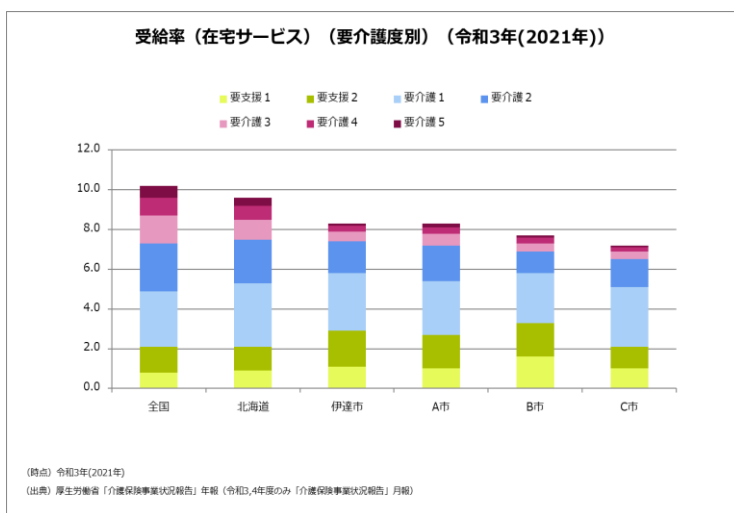
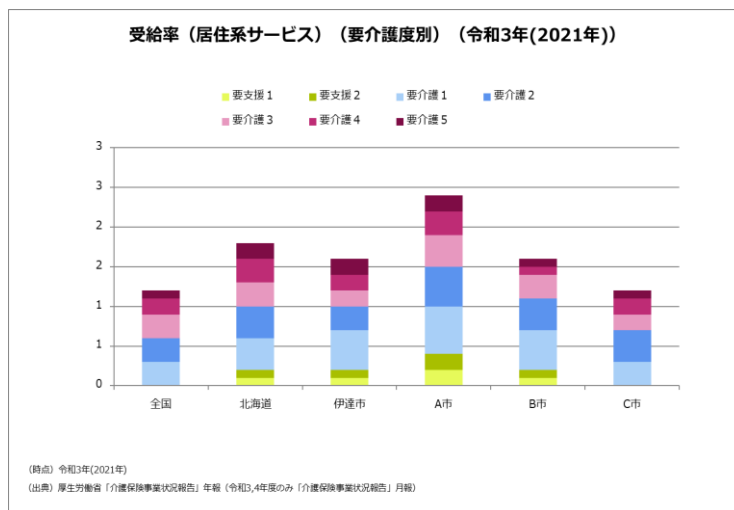
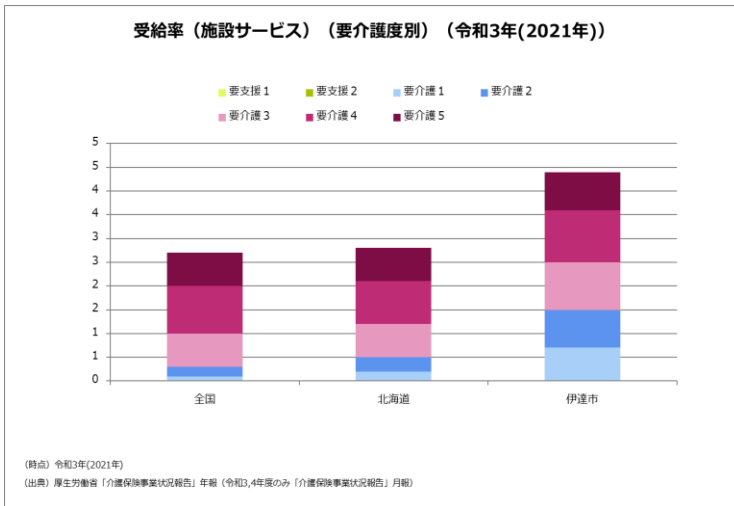
- 全国平均及び北海道平均と比較すると、第1号被保険者1人当たりの給付月額が高く、近隣市と同程度となっている。
- 伊達市の傾向としては、R1年より増加傾向となっている。



- 全国平均及び北海道平均と比較的差がある居宅療養管理指導だが近隣市とは同程度。伊達市で見ると増加傾向にある。

⇒医療系のサービスを抽出し全国平均及び北海道平均と比較した結果、サービス内容によって差はあるが近年は全体的に増加傾向となっている。  
コロナ化による在宅でのサービス利用が増えたことも要因の一つと考えられる。

5 サービス受給率の地域比較



- 施設サービスの受給率は全国平均及び北海道平均と比較して高く、中軽度者(要介護2以下)の割合も多い。
- 居住系サービスの受給率は全国平均より高く、北海道平均よりも低くなっている。  
近隣市とは地域により差があるが近隣市全体で要介護1の割合が高くなっている。
- 在宅サービスの受給率は全国平均及び道内平均と比較して低いが、近隣市とは同程度で要支援者の受給率が高い。  
⇒全国平均及び北海道平均と比較し、施設サービスの受給率が高いが、サービス別で見ると在宅サービスも増加傾向にある。  
在宅サービスの受給率の低さは施設系サービスの充実が要因と考えられる。